

競 技 者 注 意 事 項

1. 競技は、2022年度日本陸上競技連盟規則及び本大会規定に準じて行う。
トラック競技のスタートはイングリッシュコールとし、同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者は失格となる。
2. 招集について
 - (1)点呼は招集所において、用紙に自分で○を付け、出場の意思表示を行う。
点呼の終了時刻に、トラック競技、フィールド競技ともに100mスタート後方の所定場所に集合し、最終点呼を受けること。(最終点呼はトラック競技・フィールド競技ともに競技開始時刻の15分前)
 - (2)最終点呼に遅れた場合は競技に出場できないことがあるので注意すること。
 - (3)2種目以上に出場する選手は、監督がその旨を係員に申し出て、競技の進行に支障の無いように配慮すること。
 - (4)選手集合場所から試合場に移動するときは、係員の指示に従って規律ある行動をすること。
 - (5)マスクはトラック種目ではスタート準備まで、フィールド種目では試技開始前(待機中を含む)まで着用すること。(マスクを入れる袋は各自用意すること)
3. 服装について
 - (1)ナンバーカードは、胸・背部にしっかりと安全ピン等で止めること。
 - (2)男女とも競技にふさわしい服装で競技に挑むこと。
 - (3)スパイクシューズを使用する場合は9mm以下の全天候型陸上競技場専用のピンとする。
4. 競技におけるレーン順や試技順は総務が抽選して行う。ただし、つぎのラウンドへの進出選手(+ α)の人数を超えて下位の同記録者が出た場合、それらの選手はつぎのラウンドに進出できない。(着差がある場合を除く)
5. 次のラウンドへの進出人数(+ α)が決められている種目でも、その種目において救済等の処置が生じた場合は進出人数(+ α)を減じる事がある。
6. 5・6年生の100m、80mH及び400mリレーの第1走者のスタートはクラウチングスタートとする。ただし、スターティングブロックの使用は義務づけない。
7. 800m、1500mはオープンレーンで行い、24名以上はタイムレースとする。また、800mで16名を超えるスタートではグループスタートとする。
8. **コンバインド種目はそれぞれ1種目とするが、走高跳、走幅跳、ジャベリックボール投の試技はそれぞれの種目と同時に行う。**
9. 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

5・6男	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以下3cm
5・6女	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以下3cm	

ただし、当日のグランド状況等により最初の高さを下げる場合がある。その場合の下げ幅は5cmとし、フィールド審判長が決定する。
また、走高跳とコンバインド種目の2種目にエントリーしている場合、同じ高さを2回失敗した時点でコンバインド種目の記録は決定される。3回目以降に成功しても走高跳種目の記録としては認められるが、コンバインド種目の記録とはならない。
10. 80mHの2組以上のレースは、タイムレースとする。
11. 走幅跳・ジャベリックボール投・砲丸投の試技は3回とする。
コンバインド種目と走幅跳、または、ジャベリックボール投の2種目にエントリーしている場合は、2回までの試技をコンバインド種目の記録とする。
12. ジャベリックボール投については、助走距離は15m以内とし、投げる方向の角度はやり投と同じルールで行う。男女ともジャベリックボールを使用する。
13. ジャベリックボールを持ち込む場合は競技開始時刻の1時間前までに検定を受けること。検定に合格したものは競技が終了するまで持ち帰れない。

14. リレーオーダー用紙は、競技開始1時間前までに必ず本部受付に提出すること。
15. 抗議の申し立ては、チーム監督が申し出ることとする。
16. 競技場内には当該選手と競技役員以外の入場を認めない。
17. 表彰は、各種目8位までの入賞者とするが、競技進行上、競技終了後に各所属毎にまとめて用意するので、本部まで受け取りに来ること。
18. 全道大会出場標準記録

種目	5年男子	6年男子	5年女子	6年女子
100m	14"50	13"70	14"80	14"00
800m	—	—	2'50"00	2'41"00
1500m	5'20"0	5'10"0	—	—
80mH	15"70	14"50	16"20	15"50
400mR	1'01"00	56"50	1'02"50	58"50
混合400mR	57"50		57"50	
走高跳	1m15	1m25	1m10	1m23
走幅跳	4m00	4m50	3m80	4m10
砲丸投	—	8m50	—	6m50
Jボール投	46m00	56m00	35m00	44m00

※各種目3位まで、リレー種目は2位までに入賞した選手・チームが全道大会に出場できる。
ただし、1人、個人種目1種目＋リレー種目1種目の出場制限がある。